

Top Message

トップメッセージ

持続可能な社会の実現に向けて 「新しい価値」を生み出していく

2016年、DNPは創業140年を迎えました。DNPの前身である秀英舎は、明治維新後まもない明治9年(1876年)に「国家を支えるのは、学問、学芸である。学は書籍で実を結ぶ。書籍は印刷によって成る。よって印刷は文明の業である」との志のもとに創業しました。それから今日に至るまで、私たちは“社会の発展に寄与する”という創業の志のもとに印刷技術や情報技術を応用発展させ、出版印刷や商業印刷をはじめ、包装、建材、ディスプレイ関連製品、電子デバイスなどの幅広い分野で社会の発展を支えてきました。

さらにDNPは、2015年に策定した「DNPグループビジョン2015」において、「知とコミュニケーション」「食とヘルスケア」「住まいとモビリティ」「環境とエネルギー」という4つの成長領域を設定しました。これは、国内外でその解決が求められている社会課題を洗い出し、DNPが持っている人財や技術等の強みを活かして、「新しい価値」を生み出していく事業領域として選定したものです。

本報告書では、こうした取り組みのなかから、持続可能な社会づくりに貢献する「知とコミュニケーション」の事例の一部を紹介いたします。

「持続可能な開発目標(SDGs)」への対応

いま私たちの暮らす社会は、気候変動や格差の拡大などグローバルな規模で多くの課題を抱えており、人類や地球そのものの存続にも大きな影響を与えかねない状況にあるとされています。こうした事態に対し、2015年9月の国連総会において「持続可能な開発目標(SDGs)」が全会一致で採択され、国際社会全体で力をあわせて取り組むことが決定しました。

企業に対しては、これらの課題の解決に向けて創造性とイノベーションを発揮することが望まれています。企業は人財や資源、エネルギーなどを社会に依存して事業活動を行っており、健全な社会があって、はじめて成り立ちます。したがって事業活動の過程において、社会の健全性を損なってはなりません。

しかし、企業がグローバルな展開を進める上で、地球規模の環境破壊や人権侵害、労働問題等の課題に直面する場面はこれまで以上に大きくなっています。

私たちDNPはこうした課題に適切に対処するため、2006年に「DNPグループCSR調達規準」を制定し、取引先企業と協働して誠実な行動に努めてきました。さらに、昨今の関係法令や国際規範の整備などの社会の動きをふまえて、この取り組みのさらなる強化を進めています。

具体的な活動としては、2016年は、CSR調達規準の全面的な見直しを行い、「DNPグループCSR調達ガイドライン」として改めるとともに、グローバル規模でのマネジメントのあり方について検討を始めています。

環境に関しては、持続可能な社会の形成に向けて、原材料調達から使用・廃棄に至るまでのプロセス全体で環境負荷の低減を進めています。

2016年度は、環境活動の2020年度目標のスタート年として取り組んできましたが、温暖化防止をはじめ、水使用量削減や産業廃棄物削減など、すべての項目において年度目標を達成することができました。これからも中長期の視点に立ってさまざまな施策を推し進め、より高い成果を目指していきます。

企業市民としての社会貢献

DNPでは、企業市民としての社会貢献活動を実施しています。例えば、東日本大震災の復興支援については、社員による現地ボランティア活動を2013年から継続中で、2016年は、宮城県石巻市での仮設住宅の清掃活動や漁業支援などを行いました。2016年4月に発生した熊本地震においては、益城町避難所の後片付けや阿蘇市での農業支援などの活動に多数の社員がボランティアとして参加しました。被災地の復興には今後もなお一層の社会の支援が必要とされています。DNPも被災地の復興と被災された方々の支援に向けて、微力ではありますがさまざまな活動を展開していきます。

社会からの評価

DNPの取り組みに対して、社会からいくつか表彰を受けました。

例えば、公益財団法人 日本生産性本部とワークライフバランス推進会議が主催する「第9回ワークライフバランス大賞」では、「大賞」を受賞しました。これは、私たちが10数年にわたって進めてきた「働き方の変革」「ダイバーシティ推進」「健康いきいき職場づくり」などの施策が高く評価されたものです。

また、フジサンケイグループが主催する「第26回地球環境大賞」では、「日本経済団体連合会会長賞」を受賞しました。これは、窓に貼って室内を明るくする「DNP採光フィルム」と、多様な高機能フィルムを開発して環境負荷の削減と持続可能な社会の実現を目指していることに対して、賞が与えられました。

社会からのこうした評価は、DNPグループ4万人の社員一人ひとりが創業の志を継承し、各々の役割を果たしてきたことの証で、社会からの大きな期待であると受け止めています。

DNPはこれからも、社会が抱える課題に対して積極的に向き合い、社会からさらに信頼される企業になるよう努めていきます。

代表取締役社長

北島義俊